

田中康夫の



141

「JAP 名誉白人」

「ワシントンポストWP」電子版でのデイヴィッド・イグナティウス副編集長の署名原稿「Israeli officials are growing concerned イスラエル当局は懸念を強めてい

リチャード・ニクソン両大統領の元で第59代海軍長官を務めたポール・イグナティウスの子息です。

明確な終結点を定めずにガザ及びペイルストで爆撃を続けるベンヤミン・ネタニヤフ首相には懐疑的なれど「現政権に取って代わる人物は国内に見当たらず」と吐露する複数の同国高官との電話会談で、「イラン政権打倒が唯一の最終目標に非ず。主要軍事目標が排除されれば、彼らが降伏せずとも我が国の立場は達成」の見解を引き出した彼は、「イラン国民の自由で近代的生活への切望に応える新生イランを創出さべく現イラン政権壊滅を」と豪語する第47代ドナルド・トランプ大統領には「崇高なる目標」達成の具体的構想が見当たらず」と一刀両断。

る」掲載は、オマーンの仲介で核問題を巡る3回目のジュネーブ交渉直後の「テヘラン奇襲攻撃」から10日目の3月9日。筆者は第36代リンドン・ジョンソン、第37代

CIA中央情報局、NSA国家安全保障局を筆頭に全米18の情報機関が「核爆弾開発能力を現時点でイランは持ち合わせず」と報告したにも拘らず、連中は僅か2週間で核爆弾10発を製造可能とのネタニヤフの甘言に唆されたホワイトハウス。国際法違反な「宣戦布告」なき対イラン軍事作戦に抗議して辞任のジョー・ケントNC

TC国家テロ対策センター所長に留まらず、初代センター長のジョン・ブレナン元CIA長官も「トランプ政権は嘘を吐いている」とユース専門局MSNOWで諫言。

真珠湾奇襲攻撃から学んだぜと第105代内閣総理大臣に高言したトランプ政権は皮肉にも、先の大戦の敗因だった劣悪な大日本帝國の兵站ロジスティクスをも踏襲。1発6億円のバトリオットPAC-3 MSEと1機5000万円のシャヘッド136自爆ドローン。その「コスト非対称性」に慄き、1発400万円のレーザー誘導ロケット弾APKWSを投入するも、J・D・ヴァンス副大統領が予てより懸念の「製造基盤空洞化」で、爆薬を充填可能な施設はアイオワ陸軍弾薬工場のみ。更にはトラブル続出の空母ジェラルド・R・フォードで発生した火災で乗員600名の寝床を喪失。戦線離脱シクリタ島で鋭意補修の後手後手。

「3・11」直後に多くの駐日大使が離日する中、イラン・イスラム共和国大使として防衛大臣を歴任の小野寺五典自由民主党税制調査会長選挙区の南三陸町での炊き出しに参加し、『イランと日本』

を一昨年に上梓のセイエド・アッバス・アラグチ外務大臣はカタールの衛星TV局アルジャジーラで直言。「我々に無条件降伏を要求していた両国は自らの判断ミスで泥濘に追い詰められ、今やホルムズ海峡の通航再開に向けて彼らのライバル国にさえ助けを求めている。私たちは単なる『停戦』でなく、彼らが始めた戦争の完全かつ恒久的な終結を望んでいる」。

14年前の2月10日に都知事会見で石原慎太郎氏は「湾岸戦争時もイランは、特別の信号を発信する日本のタンカーを攻撃しなかった。ユダヤ系アメリカ人が実質支配するアメリカの妾じゃいけないんだ」と発言。1989年の盛田昭夫氏との共著『NOと言える日本』副題は「新日米関係の方策」。

東京五輪開催を契機に海外旅行が自由化された1964年に雄飛した高田賢三氏がパリ2区で開いたのは「JUNGLE JAP」。今では「差別用語」の妾・JAPを敢えて用いた両氏の、「媚米・屈米」の卑しい名誉白人に非ざる日本人の「しなやかな是非々々」の矜持こそが求められているのはありますまいか。

★次号5月号の発行日は4月24日(金)です。